

2023 年度 フィールドスタディ (FS) 実施企画

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	習志野市大久保地域のアメニティマップ×空間の履歴×哲学ウォーク
担当者	吉永明弘、金光秀和
実施時期	2 月 22 日、2 月 26 日～3 月 2 日（合計 7 日間。そのうち現地訪問は 4 日間、日帰りで行う）
実施場所	習志野市京成大久保駅から大久保商店街を中心とする地域
協力機関	なし
募集人員	15 名
学習目的	古くからの商店街を対象に、アメニティ評価と空間の履歴の調査を行う（吉永が担当）。また哲学ウォークの手法を使って、街をいつもとは違う観点から見つめると同時にその省察について質問し合い、考察を深める（金光が担当）。
行程	京成大久保駅近くの「プラッツ習志野」集合——大久保商店街とその周辺（毎回、異なるルートを歩く）——「プラッツ習志野」にて解散
現地訪問の際の 安全対策	マスクを着用し、密を避けるために分散して歩くよう指導する。昼食も分散してとるようにする。
費用	約 4000 円（現地での昼食代 1000 円×4 日） ※別途自宅から現地までの交通費
奨励金の カテゴリー （予定）	A：0 円
選考基準	応募者に志望動機だけでなく地域環境を見るための視座を問う課題と哲学ウォークに関するエッセイ課題を課し、適切と思われる人から順に参加を認める。地域環境を見るための視座については、秋学期の「環境倫理学Ⅱ」（担当：吉永）で解説するので、受講することが望ましい。
事前・事後 学習の予定	22 日：事前学習（オンライン）、26 日：第一回現地調査、27 日：中間発表（オンライン）、28 日：第二回現地調査、29 日：中間発表（現地で行う）、3 月 1 日：第三回現地調査、2 日：事後学習（オンライン）、という形で実施する。
注意事項	(1) 本コースは新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止または時期・内容を変更する可能性があります。 (2) 中止となった場合は、下記の代替措置によって相当する学習をおこない、単位を取得することができます。 (3) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。中止となった場合でも費用負担をしてもらう場合があります。
中止の場合の 代替措置	バーチャルまちあるき（動画による）を行い、ディスカッションの時間を多くとる。また、現地ではなく各自の近所のアメニティマップを作成し、発表する。
評価方法	アメニティマップ提出（40%）、空間の履歴に関するレポート（30%）、哲学ウォークによる気づきのレポート（30%）によって評価する。